

令和4年度 長野県観光振興審議会 資料

令和4年12月19日

観 光 部

資料 A 長野県観光戦略の進捗状況等

資料 B Withコロナにおける取組及び
Afterコロナを見据えた取組

資料 C (審議事項)
長野県の観光振興の方向性

長野県観光振興審議会 資料
【長野県観光戦略の進捗状況等】

観 光 部

長野県観光戦略2018について

概要

1 戦略の位置付け

平成30年度から始まる「しあわせ信州創造プラン2.0(長野県総合5か年計画)」を具現化するため、県としての「稼ぐ」観光地域づくりに向けた県全体の取組の方向性を明確にするとともに、県民、市町村、DMO、観光関連事業者等と互いに協働して取り組むための指針

2 対象期間：2018年度(平成30年度)～2022年度までの5か年間

3 施策展開の方向

【第I章観光の担い手としての経営体づくり】

戦略推進本部と県観光機構は連携して広域型DMO・DMCの形成と将来を担う人材の育成を行うとともに、県観光機構は組織体制を充実強化します。

- ◆ 「広域型DMO・DMC」の形成・確立
- ◆ 県観光機構が広域型DMO・DMCの形成や観光地域づくりの課題・将来像に積極的にコミットできるよう組織体制を充実強化
- ◆ 観光地域づくりの視点からの「まちづくり」の推進と支援体制の構築
- ◆ 暮らす人も訪れる人も参画する「学び」を重視した観光地域づくりの推進
- ◆ 総合産業としての観光を担う人材の育成・確保
- ◆ 県観光部の役割の明確化

【第II章観光地域としての基盤づくり】

地域の多様な主体が参画して地域のストーリーに従い、「稼ぐ」基盤となるまちづくりや二次交通・情報インフラの充実、観光ブランドの形成に取り組みます。

- ◆ 地域の持続可能な自立を目指す「稼ぐ」基盤づくり
- ◆ 世界からのアクセスを円滑にする交通インフラの整備と二次交通の充実
- ◆ 最先端の技術を活かした世界水準の情報インフラづくり
- ◆ 信州の強みを最大限発揮する観光ブランドの形成・確立
- ◆ 本県観光の新たな付加価値を生み出す「学びツーリズム」の確立
- ◆ 地勢や環境を活かした大規模イベントの開催やフィルムコミッション・スポーツコミッションの推進
- ◆ 安全・安心で楽しい登山環境の確立

【第III章世界から観光客を呼び込むインバウンド戦略】

本格的なインバウンド先進県となるべく、ハード・ソフト両面からインバウンド受入体制を強化します。

- ◆ インバウンド誘客の推進・受入環境の整備
 - ・信州のポテンシャルを活かした海外からの誘客ルートの確立
 - ・海外から選ばれる体験型観光の発掘・磨き上げ
 - ・官民挙げての受入環境の整備
- ◆ 国別戦略による効果的なプロモーション
 - ・重点地域と個別戦略
 - ・オリンピックレガシーの活用
 - ・二国間協定の活用

4 主要指標

No.	評価指標	H28 (2016)	目標値
1	延べ宿泊者数	1,780万人	2,175万人
2	外国人延宿泊者数	113.5万人	300万人
3	観光消費額	7,320億円	8,100億円
4	重点支援広域型DMO・DMCの指定数	—	10

No.	評価指標	H28 (2016)	目標値
5	来訪者満足度(国内)	18.6%	25.0%
6	来訪者満足度(海外)	43.2%	50.0%
7	山岳遭難死傷者数	211人(2017)	180人以下

主要指標の達成状況

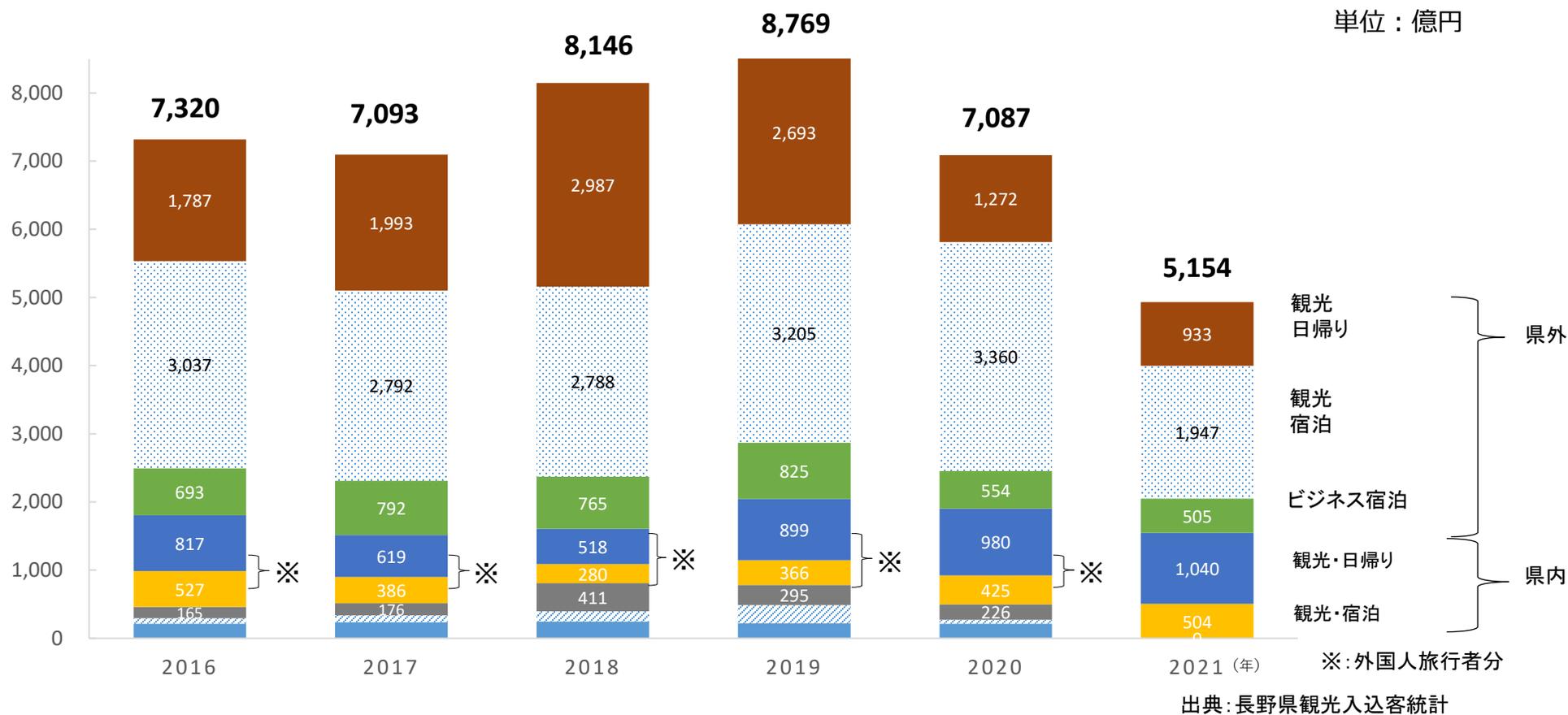
- ・新型コロナウイルス感染症などにより、人流と関係性の深い指標は、達成状況に大きく影響したものと推察。

主要指標	基準値 (2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	最新値 (2021)	目標値 (2022)
延べ宿泊者数 [宿泊旅行統計調査(観光庁)]	1,780万人	1,799万人	1,832万人	1,805万人	1,124万人	1,084万人	2,175万人
外国人延べ宿泊者数 [宿泊旅行統計調査(観光庁)]	113.5万人	129.0万人	152.7万人	157.8万人	53.0万人	6.3万人	300万人
観光消費額 [観光入込客統計(共通基準)]	7,320億円	7,093億円	8,146億円	8,769億円	7,087億円	5,154億円	8,100億円
来訪者満足度(国内) [来訪者満足度調査(県観光機構)]	18.6%	23.7%	25.8%	32.5%	26.7%	23.6%	25.0%
来訪者満足度(海外) [来訪者満足度調査(県観光機構)]	43.2%	41.2%	40.9%	37.5%	— (コロナ禍により 未実施)	— (コロナ禍により 未実施)	50.0%

※ 矢印は対前年比

観光消費額の年別・属性別推移

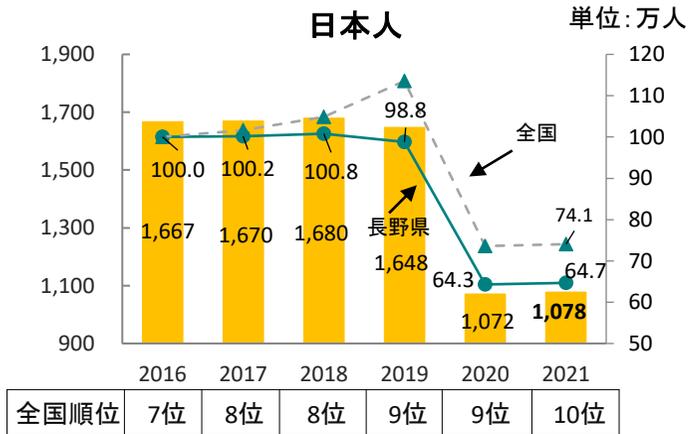
- ・コロナ禍の2021年は県外観光客の消費額が大きく減少した一方で、県内観光客の消費額は宿泊・日帰りともに増加



本県の延べ宿泊者数の状況

【日本人と外国人の推移】

● 延べ宿泊者数(日本人・外国人)



出典:宿泊旅行統計調査(観光庁)

● 平均宿泊数(日本人・外国人)

日本人

平均宿泊数は微減

[2016]1.29泊 ⇒ [2021]1.27泊

外国人

平均宿泊数は増加

[2016]1.48泊 ⇒ [2021]2.04泊

出典:宿泊旅行統計調査(観光庁)

● 都道府県別延べ宿泊者数(上位10県)

	2020年		2021年		順位 (増減率)
	延べ宿泊者数 (万人)	延べ宿泊者数 (万人)	対前年比 (%)	順位 (増減率)	
1 東京都	3,776	3,824	101.3	18	
2 北海道	2,144	1,906	88.9	38	
3 大阪府	1,972	1,786	90.6	35	
4 神奈川県	1,513	1,481	97.9	28	
5 静岡県	1,437	1,426	99.2	22	
6 千葉県	1,413	1,408	99.6	20	
7 京都府	1,390	1,192	85.8	42	
8 沖縄県	1,379	1,147	83.2	47	
9 愛知県	1,107	1,134	102.5	14	
10 長野県	1,124	1,084	96.4	30	
全国	33,165	31,777	95.8		

出典:宿泊旅行統計調査(観光庁)

主要指標の状況から見る今後の方向性

- ◆ ワクチン接種により重症化の割合は減少したものの、感染症対策等のため、近隣地域への旅行（マイクロツーリズム）が増加
- ◆ 一方、2021年は国のGoToのような全国単位の需要喚起策がなく、遠方からの旅行需要を取り込むことができなかったことにより消費単価が伸び悩み、観光消費額全体が減少
- ◆ 国外については世界経済フォーラムによる旅行・観光競争力ランキングで日本が初の首位となったこと等、日本への旅行に注目が高まっている状況
- ◆ これらを踏まえ、「Afterコロナ時代を見据えた観光振興方針」に沿って、「長期滞在型観光の推進」や「信州リピーターの獲得」のための戦略的な取組を推進する必要

長野県観光振興審議会 資料

【Withコロナ及びAfterコロナを見据えた取組】

観 光 部

Afterコロナ時代を見据えた観光振興方針

【方針骨子 - 3本柱-】

1 安全・安心な観光地域づくり

喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策を観光地全体で対応する体制を整備

<安全・安心の見える化> **Clean&Safe NAGANO プロジェクト**

2 長期滞在型観光の推進

地方の開放的な環境で ゆったりと寛ぐ時間を提供し
新たな気付きで 人生を豊かにする 長期滞在型観光を展開

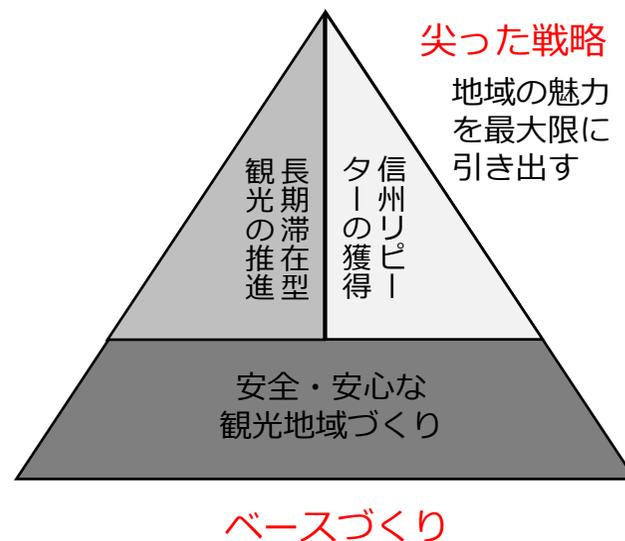
<ライフスタイルと観光の融合> **寛ぎと発見の長期滞在プロジェクト**

3 信州リピーターの創出

旅マエの魅力デジタル発信から旅アトのマーケティング戦略まで
観光分野のDX推進により コアな信州ファン獲得へ

<デジタル×観光=信州ファン増> **信州リピーター獲得プロジェクト**

【全体イメージ】



観光復興に向けたこれまでの取組①

◆ 観光事業者に向けた観光需要喚起策

令和3年度	令和4年度
<p>● 「県民支えあい信州割SPECIAL」事業 宿泊代金の割引等により観光需要を喚起 ・割引対象者：感染状況に応じて、家族・少人数・ 県民・都道府県ブロック等変更 ・利用実績：宿泊割 790,717人泊 日帰り割 40,009人</p> <p>● この冬どこいく？ウェルカム信州アクティビティ割！ リフト1日券を1人あたり50%割引、県内スキー場へ誘客 ・実施期間：R3.12.13～R4.5.31 ・利用実績：291,646人</p>	<p>● 信州割SPECIAL 宿泊割【11月補正予算】 旅行代金の割引等を実施し、観光需要を喚起 （全国旅行支援：10/11～12/27 R5以降も継続実施を予定）</p> <p>● 交通クーポン事業（10/1～） 交通機関（バス・タクシー・鉄道等）の企画商品で利用できるクーポンを発行（1,000円）</p> <p>● エネルギーコスト削減促進事業 事業者の省エネ・再エネ設備の導入を支援</p> <p>● 冬のアクティビティ利用促進事業【9月補正予算】 スキーリフト券等の割引を実施し、冬季の観光需要を喚起</p> <p>● 体験型修学旅行等誘致促進事業 SDGs体験学習などを伴う修学旅行や部活の合宿等を支援 （R4.10.1より大学・短大・専門学校の合宿も対象）</p>

◆ 【方針①】安全・安心な観光地域づくりの取組

令和3年度	令和4年度
<p>● 信州安全・安心な宿魅力向上事業 宿泊施設の実施する感染防止対策や新たな観光需要に対応するための施設整備等を支援 ・利用実績：申請件数 1,665件 助成金額 2,111,542千円</p> <p>● 山小屋の公益的機能等応援事業 登山者の安全を守る取組（登山道整備等）を担う山小屋を支援 ・支援金（30万円）給付（給付実績 88件） ・クラウドファンディングの実施（寄付実績 19,427,220円）</p>	<p>● ユニバーサルツーリズム推進事業 誰でも楽しめる山岳高原観光地域づくりの実現に向け信州ユニバーサルツーリズムを推進 ・具体的な取組：魅力発信のためのフォーラム開催 専用機材の運用技術を習得した実務人材を育成</p> <p>● 山小屋の公益的機能等応援事業【6月補正予算】 令和3年度に引き続き山小屋支援を実施 ・具体的な取組：支援金を40万円に増額するとともに給付クラウドファンディングの実施</p>

観光復興に向けたこれまでの取組②

◆【方針②】長期滞在型観光の推進・【方針③】信州リピーター獲得に向けた取組

令和3年度

● 信州安全・安心な宿魅力向上事業（再掲）

宿泊施設の実施する感染防止対策や新たな観光需要に対応するための施設整備等を支援

・利用実績：申請件数 1,665件 助成金額 2,111,542千円

【主な活用事例】

- ワーケーション客の誘客のため、
Wi-fi設備やWeb会議用モニター・パソコン等を整備
- インバウンド再開後の需要を取り込むため、
翻訳用タブレットやキャッシュレス機器の整備



- 密をさけるアウトドアコンテンツの展開に必要な、
テント・BBQセット・グランピング用設備などを整備



令和4年度

● 「信州観光復興元年」プロモーション

県内観光の復興に向け、市町村・民間企業と連携した大規模な観光誘客プロモーションを展開

- 春：春の信州 彩り観光キャンペーン
「善行寺御開帳」「諏訪大社御柱祭」などの大型催事と連携し、
県内各地をPR
- 夏：夏の信州 わくわく観光キャンペーン
夏休みの親子をターゲットに信州の夏を楽しめるコンテンツの
提案及び県内各地の魅力をPR
- 秋：秋の信州 食欲！旅欲！観光キャンペーン
テーマを「食」にフォーカスしたコンテンツの提案・紹介
オール長野県ロケの映画「土を喰らう12か月」とタイアップ

● 信州の観光地魅力向上実践事業

長期滞在型観光の推進やリピーター獲得に向け、観光地の魅力向上を実践する地域の取組を支援

- ・取組例①：ユニバーサルツーリズムのモデル地域形成
- ・事業例②：複数回参加の狩猟体験ツアー造成

● インバウンド需要回復緊急対策事業【6月補正予算】

国の入国制限緩和に併せ、海外旅行博への出展や旅行会社・メディアの招聘等、訪日外国人誘客に向けたプロモーションを実施

● スノーリゾート受入環境整備支援事業【9月補正予算】

若者・インバウンドの誘客や人手不足の解消に資する設備整備等
(例：キャッシュレス化・多言語案内)を支援

長野県観光振興審議会 資料

【（審議事項） 長野県の観光振興の方向性】

観 光 部

次期総合5か年計画の検討状況

※ 令和4年11月 次期総合5か年計画の策定について(答申)をもとに長野県観光部作成

基本目標

確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る

政策の柱

施策の例

1 持続可能で安定した暮らしを守る

- ・ 持続可能な脱炭素社会の創出
 - ・ 災害に強い県づくりの推進
 - ・ 県民生活の安全確保
 - ・ 良好な生活環境保全の推進
 - ・ 健康づくりの推進
- など

2 創造的で強靱な産業を育てる

- ・ 成長産業の創出・振興
 - ・ 産業人材の育成確保
 - ・ 地域に根差した産業の活力向上
 - ・ 稼ぐ力とブランド力の向上
 - ・ 循環型経済への転換の挑戦
- など

3 快適でゆとりある社会生活を想像する

- ・ デジタルの力を活用した便利で快適な暮らしの実現
 - ・ 移住・交流・多様な関りの展開
 - ・ 文化芸術の振興と文化芸術の力の様々な分野への活用
 - ・ 山岳高原観光地域づくりの推進
- など

4 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる

- ・ 若者の結婚・出産・子育ての希望実現
 - ・ 子ども・若者が夢を持てる社会の創造
 - ・ 働き方改革の推進と就労支援の強化
- など

5 誰もが主体的に学び続けられる社会をつくる

- ・ 一人ひとりが自分にとっての幸福を実現できる体験や学びの推進
 - ・ 高等教育の振興による地域の中核となる人材の育成
 - ・ 生涯にわたり学び合える地域拠点の創出
- など

今後の観光振興に向けた取組の方向性（案）

<観光戦略2018の成果・課題やコロナによる影響を踏まえ、以下方向性を提示>

◆長野県の強みを活かした「サステナブル」な観光地域づくり

- 長野県の強みである「自然環境・アウトドア」「温泉」などを打ち出し
- 長野県の大切な観光資源である「自然環境」「文化資源」の保全に取り組む「サステナブルな観光地域」を目指す取組を推進
- 人材確保・育成や経営支援等、事業としてのサステナブル（継続性）も意識

◆データに基づき、ターゲットを絞った効果的な「プロモーション」

- DX技術等も用いて、観光に関するデータを収集・分析できる仕組の検討
- 収集したデータに基づきトレンドやニーズに対応した効率的なデジタルプロモーションを推進

◆コロナで消滅した「インバウンド」の回復・誘客促進へ

- 今後復活が見込まれるインバウンドの確実な取り込み
- 中長期も見据え、海外の高付加価値旅行者（一度の旅行での消費額の高い旅行者）へのアプローチ

上記施策を継続的かつ安定的に推進するため、「新たな観光財源」について検討を進める

審議会委員の皆様にお伺いしたいこと

- ◆ 「今後の取組の方向性（案）」に、必要な視点・理念・考え方等があればご意見を申し上げます
- ◆ 「今後の取組の方向性（案）」に基づき、今後または継続して県が取り組むべきことについてご意見を申し上げます